

令和2年2月3日

## 令和元年度 日本地学教育学会広報委員会（第1回）議事録

広報委員長 宮下 治

- I 日時 令和元年2月1日（土） 14:00～17:00
- II 場所 帝京平成大学 中野キャンパス 1144 会議室
- III 出席 宮下 治（委員長）、吉富健一（副委員長）、小森次郎、藤平秀一郎、  
竹下欣宏<資料あり>、山下浩之（アンダーライン：欠席）

### IV 内容

確認事項；

#### 1. 2018年7月～2020年6月までの担当について

- ・委員会統括 ；宮下
- ・学会HPの作成、管理及び運用（更新）；吉富
- ・地学教育ニュース（学校現場などでの実践紹介）；藤平、山下
- ・学会メールニュース；小森
- ・学会パンフレット；竹下

報告事項；

#### 1. 各担当の活動報告（2018年度、2019年度）

##### (1) 学会ホームページの管理及び運用（更新）について

###### ① 学会ホームページ更新状況について（2018年度）

- ・記事（学会・イベント等）の掲載： 8件
- ・議事録等の掲載： 4件
- ・掲載内容（選挙・投稿規定や様式）の更新： 6件

###### ② 学会ホームページ更新状況について（2019年度）

- ・記事（学会・イベント等）の掲載： 7件
- ・議事録等の掲載： 7件
- ・掲載内容（選挙・投稿規定や様式）の更新： 6件

###### ③ スマートフォン対応について

- ・学科HPをスマートフォンで見られるように対応を行った。

##### (2) 「地学教育ニュース」について

###### ① 「地学教育」への掲載

- ・第72巻3号（藤原氏の原稿）、4号（瀧本氏の原稿）の2本がストックされている。

###### ② 「みんなの地学」への掲載

- ・第1号には、2本の原稿（米澤氏原稿、渡来氏原稿）がストックされている。

加えて、1本の原稿を広報委員より依頼する予定である。

- (3) 「ニュースレター配信」について
  - ・【配信件数】：2018年度 20通、2019年度 20通を配信した。
  - ・【記事の内容】：学会の大会、巡検の企画紹介、他組織も含めたシンポジウム等の企画紹介、助成金や教員公募、テレビ番組の放映紹介など。
- (4) 学会パンフレットについて
  - ・2018年度：全国中学校理科教育研究会兵庫大会で780部を活用してもらった。
  - ・2019年4月に2000部を増刷りした。
  - ・2019年4月に教科「理科」関連学会協議会（CSERS）シンポジウムで1000部活用してもらった。
- (5) 現地講習会
  - ・実施日：令和元年10月5日（土）
  - ・講師：藤平委員
  - ・参加者：20名（学会員12名、非学会員7名）

## 2. 2020年2月以降の活動について

- (1) 学会ホームページの管理及び運用（更新）について
  - ・学会の情報更新
  - ・学会誌「地学教育」Web化への対応
  - ・「みんなの地学」発行への対応 など
- (2) 「地学教育ニュース」について
  - ・「みんなの地学」第2号に向けた原稿（できれば4本）を集める
- (3) 「ニュースレター配信」について
  - ・配信頻度を高める
  - ・記事のマンネリ化を改善する
  - ・記事の対象地域が首都圏や関西圏に限られているため、多くの支部から情報を集める
  - ・配信担当者が一人なために遅配の対策や配信内容等のチェックが十分にできていないため、担当者を増員する
- (4) 学会パンフレットについて
  - ・2020年5月17日に教科「理科」関連学会協議会（CSERS）で200部配布予定。
  - ・学会誌など学会に関する情報が刷新されているので、パンフレットの原稿も改め、新たに印刷を行う。できれば2020年6月中に行いたい。
- (5) 現地講習会
  - ・実施日：令和2年10月頃
  - ・講師：藤平委員
  - ・場所：世田谷区等々力溪谷など

3. 次期（2020年7月～2022年6月）広報委員会の委員構成について

- ・委員長 宮下 治 （帝京平成大学） 委員会統括
- ・副委員長 吉富健一 （広島大学） 学会HP担当
- ・委員 小森次郎 （帝京平成大学） 学会メールニュース担当
- ・委員 藤平秀一郎（茨城県立結城第一高校）地学教育ニュース担当
- ・委員 竹下欣宏 （信州大学） 学会パンフレット担当
- ・委員（予定） A氏 学会HP担当
- ・委員（予定） B氏 学会メールニュース担当
- ・委員（予定） C氏 地学教育ニュース担当

以上